

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日 13:00～14:00	会長	島村恵三
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一歩を踏み出し、  
10年後のアイリスを創造し、  
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第419回 例会

(ガバナー補佐訪問)

2022年10月12日 13:00～

- 司 会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉 唱 我らの生業
- 出席報告 出席者数 18名 / 27名  
出席率 66.7%
- ゲスト
- ビジター 国際ロータリー第2760地区  
2022-23年度東名古屋分区  
ガバナー補佐 池森由幸様  
地区副幹事 山田典廣様  
地区スタッフ 片岡憲明様  
分区幹事 足立一郎様  
東名古屋分区IM実行委員長  
吉田玄様

### ニコボックス

- ガバナー補佐 池森由幸様  
多額のご寄付を頂きました。
- IM 実行委員長 吉田玄様  
来年2月28日開催予定のIMのPRにまいりました。
- 島村恵三 会長  
池森ガバナー補佐をお迎えしての例会です。  
宜しくお願ひ致します。
- 加藤正広 幹事  
本日は、ガバナー補佐池森様、地区副幹事山田様、地区スタッフ片岡様、分区幹事足立様ようこそアイリスへお越し下さいました。卓話はじめクラブ協議会宜しくお願ひ致します。また、IM実行委員長吉田様PR宜しくお願ひ致します。
- 安井忠 ローターリー財団委員長  
いい天気です。
- 藤谷猛 クラブ戦略委員長  
ガバナー補佐池森由幸様、地区副幹事山田典廣様、地区スタッフ片岡憲明様、分区幹事足立一郎様、ようこそアイリスへ。本日は、どうぞ宜しくお願ひ致します。

### 会長挨拶



皆さん、こんにちは。本日は、池森ガバナー補佐をお迎えしての、ガバナー補佐訪問例会です。例会前に、会長幹事懇談会があり、貴重なご意見を頂き、大変参考になりました。

さて、先週、荒山10周年実行委員長と千種ロータリークラブの40周年記念式典へ出席してまいりました。一言でいうと、歴史の重みを感じました。

40年の歴史のあるクラブでも、式典の当日直前まで変更があり、リハーサルを何回も実施されたそうです。それゆえ、式典、記念講演、祝宴に至るまで、式次第にある時間通りでした。ちなみに、記念事業はフードバンク団体のNPO法人セカンドハーベスト名古屋への食料支援をされ、記念講演は高橋洋一氏を招へいされて「これからの日本で豊かに過ごすため」をテーマに話をされました。

アイリスロータリーも、来年5月に10周年の式典を開催するにあたり、大変参考になり、勉強させて頂きました。アイリスは設立時、33名のメンバーでスタートし、女性メンバーは12名で、比率は36%でした。5年目で42名まで会員を増強できましたが、現在は29名です。そのうち、女性メンバーが12名で、比率は41%になります。今後の10年を見据え、クラブの活性化のためにも、なんとか女性メンバーの比率を50%以上にし、会員数も増強していきたいと思ひます。



## I.M 実行委員長 ご挨拶

国際ロータリー第 2760 地区  
2022-23 年度東名古屋区分  
IM 実行委員長 吉田玄 様



世界を襲ったコロナ禍により、当区分の IM は名古屋守山ロータリクラブ様のホストによって 2018-19 年度に開かれてから 4 年ぶりの開催になります。今年度の開催に当たっては 1 年以上前から準備を開始致しましたが、その間、第 5 波、6 波、7 波と世界の祈りを弄ぶようなバンデミックが続きました。当名古屋千種 RC 実行委員会では、この予測不能ともいえる状況の中、まず実行可能か否かという所から検討を始めました。

まず誰からも口に出るのは「ムリだ！」でした。当然です。しかし、池森ガバナー補佐は大変慎重な方ですが、「やめよう」とは決して言いません。とにかく設定できる複数条件下での開催方法を模索しました。

当然この原稿を書いている今も状況は流動的です。1 ケ所の会場に集合できるか？、どんな会食の形式が可能か？、中止の場合のリスクは？一切がありません。しかし可能な限り開催に向けて準備をします。その上であらかじめ設定した時点での状況により、開催の可否を判断致します。

ご存じの通り、M は区分内会員相互の親睦と知識を深めることを目的として行われます。できる限りこの目的に沿った運営ができますよう準備を致します。現在、「世界の子どもたちへのボランティア・チャリティ活動を行っている、世界子ども基金の藤原紀香氏講演会と、同氏のボランティア写真展」、「区分内クラブの会員増強活動・奉仕活動事例紹介」、「懇親会」を柱として計画を進めています。

相手はウィルス。現在、「必ずパーフェクトに開催致します！」と申し上げられないところが誠に残念ではありますが、何卒、会員全員のご参加と、あたたかいご協力を頂きます様お願い申し上げます。

## 卓 話

演 題：国際ロータリー第2760地区  
2022-23 年度 地区方針  
卓話者：ガバナー補佐 池森由幸様



### 【要旨】

022-23 年度 ジェニファー・E. ジョーンズ国際ロータリー会長により、年度テーマは、「IMAGINE ROTARY」「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。想像してみてください」と定められ、また、国際ロータリー第 2760 地区 地区方針は、笹橋美久ガバナーにより、「未来を描こう、笑顔でつなごう」～一人

一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～と定められました。具体的な活動方針は次の通りです。

1. 計画的なクラブ運営と活動を行いましょ。そのためには、数値目標を含めた年間活動計画をクラブセントラルに登録し、それを定期的に検証して、年間目標に向かってクラブ一丸となって実現しましょ。

2. 会員の増強をしましょ。

具体的には、地区会員目標を 5,000 人と定め、達成に尽力しましょ。そのために、

(1) 入会を目的としインターンシップ方式を導入し入会を促進しましょ。

(2) 女性会員の在籍率を S% に増強しましょ。

現在世界での女性会員は 25% で、日本の女性会員は 7.2% (2760 地区は 6%) ですので、ジェンダー格差を改善していきましょ。

(3) 若い年齢層の入会促進にも取り組みましょ。

3. ゴミ投棄防止運動に取り組みましょ。

環境改善事業として、身近な事から活動ましょ。特にごみ放棄、海洋マイクロプラスチックの投棄に関するストップ運動を行いましょ。具体的には、

・自分の街からごみを無くましょ

・河川の美化を図ましょ

・海岸の美化を図ましょ

・生態系を守ましょ

4. ポリオ根絶への貢献

ポリオ根絶募金活動をロータリー財団中心に実施し、地域社会へのアピールを行いましょ

う。具体的には、

各地で計画されたイベント(例えばワールド・フード+ふれ愛フェスタ(WFF))にて、地域社会への広報に努め、公共イメージ向上に協力しましょ。

5. 公共イメージ向上

・奉仕活動を地域社会にアピールしましょ

・MY ROTARY の登録促進を図り、MY ROTARY サイトで提供されている資源を活用しましょ

・ホームページの活用を促進しましょ

・地区内各委員会との連携を図りましょ

6. 地区大会 みんなで成功させましょ！

開催日：11 月 12 日(土)名古屋観光ホテル、13 日(日)愛知県国際展示場

ホストクラブ：常滑ロータリークラブ

7. 第 10 回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ(WFF) 2023 年 4 月 15 日(土)16 日(日)エディオン久屋広場にて開催

・WFF の 3 つの目的

・収益金による人道的奉仕活動(ファンドレイジング)

・ロータリーの公共イメージ向上

・ポリオ根絶に参加

8. 国際大会(メルボルン)へ参加ましょ

2023 年 5 月 27 日(土)~31 日(水)

ガバナーナイトを開催ましょので、多くの皆さんの参加をお待ちましょ

DEI はロータリー活動にどのように関わってくるのか？

●アメリカ合衆国におけるダイバーシティ、エクイティ、



インクルージョン(匠I)の動きは新しいものではありません。匠Iという概念は、古くは19叩年頃から主に教育機関・企業において、それらが、活発に発展しながら活動する際に必要であるとして取り込まれ始めた概念です。

●1960年代の公民権運動に端を発し、性別、性的指向、宗教、出身国、その他のアイデンティティを含むようになりました。

●1960年代から19n年代半ばまでの焦点は、職場、学校、およびコミュニティの統合の受け入れを意味する包容力(寛容)にありました。

●1970年代半ばから1990年代にかけて、多文化主義と、さまざまな人種のおよび民族的マイノリティの功績を認識することに焦点が当てられました。人口動態が変化し始め、2040年代までに「マジョリティ マイノリティ」文化に関する予測があったため、インクルージョンと公平性が強調されてきました。

●2010年代初頭以来、多様なグループがあらゆる経済的および社会的レベルで代表されることを保証するために、説明責任がますます強調されてきました。多くの場合、ソーシャルメディアを使用して、政府、企業、および市民社会に説明責任を持たせています。

★DEIの概念を解りやすくするために、順番を変えて説明します。

Diversity(ダイバーシティ、多様性)

世の中には、いろいろな人がいます。一人ひとりの個性を互いに受け入れ、尊重し、個性に価値を見つけることです。ここでいう個性とは、人の内面や外面、つまり価値観、文化、宗教、性格、経験、性的指向、性自認、人種、民族、国籍、言語、性別、年齢、障がい、健康、家族、社会的地位、学歴、職歴等のあらゆる違いを指します。

Inclusion(インクルージョン、包括性)

一人ひとりが個性を発揮し、仲間はずれにしないことであり、積極的に組織として活かすことです。それは目指す方向に向けて貢献したいと願う一人ひとりが主体的に参加し、言うべきことを言い合える状態です。その結果、私たちはより高い価値を生み出すことができます。

Equity(エクイティ、公平性)

人々の一人ひとりに対する機会の提供の公平性を追求することです。それは一人ひとりの個性に応じて、誰もが情報やツール、仕組みなどを活用して挑戦する機会を得られるように支援し、公正に処遇する場を実現することです。



## クラブ協議会

例会終了後、ガバナー補佐 池森由幸様、地区副幹事 山田典廣様、地区スタッフ 片岡憲明様、分区幹事 足立一郎様、島村会長、菊地富士子副会長、青木恭子会長エレクト、加藤正広幹事、長谷川芳子副幹事、各委員長、入会3年未満の会員によるクラブ協議会が開催されました。

クラブ協議会では、各委員長から緊張しながらも一生懸命に委員会の方針と活動内容、現状などをガバナー補佐にご説明させて頂きました。それについてガバナー補佐、地区、分区の方々からは、評価とアドバイス、質疑応答、そして暖かいお言葉を頂戴致しましたので、より良いクラブを目指す為に今後のロータリー活動の参考とさせていただきます。最後にガバナー補佐からご講評を頂きクラブ協議会を無事終了致しました。新入会員にもクラブ運営の詳細が理解でき、良い刺激になったようです。

なお、今年度のガバナー補佐訪問はアイリスロータリークラブが最後のクラブとの事でした。ガバナー補佐はじめ地区、分区の方々、本当にお疲れ様でした。



## ガバナー公式訪問のお知らせ

日付：2022年10月27日(木)

会場：名古屋東急ホテル 3F

時間：会長幹事懇談会 18:00~

：例会：19:00~20:30